

トや炊き出しをする際のテントなどが十分備わっている必要があると考える。現在国分寺市で備蓄しているものだけでは不十分ではないか。加えてアウトドア用のキャンプトントも大変有効であると聞いている。市でも確保してはどうか。**総務部長** 市の避難所のスペースを考えた場合、全避難者が入り切れるだけの避難スペースは確保できていないというのが現状であり、テントの活用、備蓄について議員紹介のキャンプトントと合わせて検討していく。

2. 地場野菜と「こくベジ」について

問 昨年度からプロモーションに力を入れ、市の観光資源として取り組まれてきた。今年度も続けていかれると思うが、何より大切な事は生産者である農家の方々、JA、商工会としっかり連携を取り、外への発信の前に先ずは市民への周知に重きを置いて市の大きな魅力の1つとして進める事だと考えるが如何か。

政策部長 引き続き全庁的に取り組む必要がある。農業者の方々をはじめ関係機関と密に連携を深めて進めて参りたい。

田中 市民の声が外への大きな発信源になると思う。自信を持って進めて頂きたい。

3. 国分寺駅北口再開発地域のにぎわいの創出について

問 以前にも質問しているが、商工会に展示している七重の塔の模型を再開発ビルに設置する提案について進捗を伺う。

都市開発部長 歩行者の安全確保、またビル権利者の皆様の同意を得ながら前向きに検討しており現在、立体広場で人目に付きやすい場所を選定しているところである。

問 多くの方々に愛でてもらえるよう今後も願います。次に工事エリアを囲むフェンスについて、市内のイベントの広告や学生の作品展示等に利用できないか。**都市開発部長** 更なるにぎわいの創出の為にいつでも活用できるよう特建者と調整している。

その他 買い物弱者対策について、空き家対策について、振り込め詐欺対策について質問した。

安心・安全のまちづくり



自民党国分寺市議団 尾作 義明

●待機児童解消について

尾作 今年度当初102名の待機児童の内、96名が0～2歳児。この2年間で6園、約402名の拡充が計られるが、0～2歳児の枠は多くはない。市は現存の園の拡充、分園を方針としているが、子どもの送り迎えなど利便のよい国分寺

第2回定例会陳情の審議結果

第2回定例会では陳情1件が付託され、継続中の3件と併せて審議した結果、継続4件となりました。

《継続となった陳情》

陳情第27-6号 西国分寺駅東口開設を求める陳情

陳情第27-9号 国3・2・8号線事業の車線数変更を東京都へ求める陳情

陳情第28-1号 子どもをめぐる施設に対する安全ガイドライン策定に関する陳情

陳情第28-3号 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員の意見書提出を求める陳情

駅、西国分寺駅周辺へ新規の小規模園を増園することも、検討するべき。

部長 小規模園の誘致によるその解消には効果がある。3歳からの環境変化など課題の解決が必要。今後の整備に、条件設定など検討を行う。**尾作** 一時預かりの充実も検討いただきたい。

●東山道武蔵路跡の整備について

尾作 この3月に発行された学術報告書では国分寺崖線の下、立川段丘の調査から、その構造、周辺の遺構などから貴重な遺構であることが示されている。今後も調査を進めるべきである。

部長 古代道路のあり方、僧寺と尼寺との中間地点の遺構の重要性から、更なる調査、保存、活用を図っていききたい。

●電線の地中化について

尾作 電線の地中化、無電柱化は国土交通省、東京都でも進めている施策である。市内ではまだ少ないが、防災、景観、通行空間の確保のため整備が必要である。今後の取り組みを伺う。

部長 必要性を認識。都市計画道路、国3.2.8号線では進行中。国3.4.11、国分寺駅北口の交通広場周辺、国3.4.12号線など順次進める。

●国3.4.12号線周辺整備について

尾作 事業化にあわせて地権者の方々を考えると、用途地域など都市計画の変更を行い、高度利用できるなど沿道の環境を整えていく必要性もある。さらにまちの活性化を考えると、早期の再建プランを提示していかなければならない。用地買収が始まるころには都市計画を変更していく必要があると考える。

部長 今年度より3カ年の委託により都市マスタープランに掲げた土地利用の見直しについて検討業務を行い、当該地域においても具体的検討を行っていききたい。市民意向の把握とそれを踏まえた実施方針を作成したい。用地買収が本格化する予定の時期には地権者の方々に具体的な都市計画の内容を示したい。

●市民、学校プールの耐震化、生活用水への利用について質問。飲料水への利用を確認した。

複合的な家族の問題 世帯単位で支援の仕組み



国分寺政策市民フォーラム 皆川 りうこ

★臨時職員の研修、ハラスメント防止対策

皆 臨時職員も研修が受けられることをアナウンスせよ。事務報告書には嘱託職員、臨時職員が受けた研修の実績人数を記載するように。

答 業務上必要な研修を受けることが可能で賃金保証もある。事務報告書への記載は工夫する。**皆** 昨年以降、各種ハラスメント防止の要綱等策定せよとの質問をしてきた。現在、策定され施行されている。相談者に不用意な言葉かけ二次被害等の不利益を生じることなく、加害側には聞き取りも行い、公正な対応を行うように。**答** 秘密厳守する等の配慮、十分な対応を図る。**皆** ハラスメントとは何か、指針の作成を急げ

答 6月中には策定が終わるよう現在作業中。

★介護保険制度と障害者サービスの適用関係

皆 障害者サービス受給で第二号保険者の場合、個人の状況を尊重し、介護保険移行は慎重に。**答** 当事者や家族を交えて丁寧に行っている。

★障害者差別解消法…障害者へ合理的配慮を

皆 差別的な対応をせぬよう、職員向けの手引きである対応要領の策定と職員研修の実施は？**答** 必要性は認識し庁内で策定を検討中だ。本テーマの研修で臨時職員へも取り組んでいく。

★市内連携でファミリーソーシャルワークを皆) 介護、引きこもり、DV被害者等一つの家庭の中に複数の問題を抱えている場合がある。一人への支援というより家族全体を支援すべき。**答** 複合的な問題を抱える世帯へ横断的に包括的支援について相談シート等内部検討している。

★市民参加・情報公開は機能しているか？

皆 国分寺まつりに出店できなかった団体が補助金団体である実行委員会の議事録等情報公開請求したが「文書不存在」との結果。市の情報公開条例の趣旨が伝わっていないのではないか。**答** 透明化を図るよう事あるごとに伝えている。

皆 市が事務局を担っている団体だ。文書を残すよう規定の見直しも必要ではないか？

答 機会あるごとに説明し、実行委員会の主体性独自性を尊重した上で検討されるべき事項だ。

★主権者、政治教育は日頃の積み重ねが大事

皆 明るい選挙のポスターは多摩地区でも一位二位と多数の応募数だ。学校現場では租税教育、人権教育、環境教育と主権者教育そのものだ。

答 教育活動の中で社会を形成者する一員としての自覚を持つ教育を進めていくことが重要だ。

ぶんバス新たなステージへ 不妊症対策を求む



自民党国分寺市議団 尾澤 しゅう

【1】ぶんバス事業の成否はデータ収集キモ！

尾澤 どのバス停でどれだけ人が乗り降りしているのか把握できていないのが大きな課題。乗降客のデータ収集を行い、効果検証をしてサービス向上やルート再編に活用していくべき。乗降客の利用状況を把握するシステムを導入していただけますか？

※民間バス事業者がこのシステム活用してバスルートの検証と見直しにより年間乗降客数25%アップを果たした実績もある。

答 乗降客の詳細な利用状況を把握することの重要性は認識している、費用面を含めて検討を進めていきたい。

【2】不妊症についての取り組み強化！

尾澤 現在、本市では不妊症についての相談窓口整備や、国や都の事業とは別に市独自の取り組みは行われていない。市独自の取り組みとしては東京都の特定不妊治療費助成の上乗せ補助や医療保険の対象外である男性不妊検査費の一部負担などが考えられるが、直ぐにもできることとして不妊症相談窓口の整備を求めます。

答 今後、市のホームページにおいて都の助成制度、医療費助成制度、それから国の相談センター、また東京都のホットライン等を御紹介します。その上で国分寺市独自の不妊症についての支援策を考えていきたい。

【3】公共用地を確保無くして市の発展なし！

尾澤 公共施設のマネジメント(統廃合)や、自治体間競争に勝つための魅力あるまちづくり(まちなかスタジアム建設等)を行っていくために良い立地(駅近等)にまとまった公共用地を確保していく必要がある。

答 公共施設の再配置計画や個別施設計画などをこの2年間で策定する時期である。そのような内容も含めて公共用地のあり方について、今後検討していく。

【4】市境地域の道路に継続性を！

尾澤 特別養護老人ホームサンライトの前の南北に通る道路があり国分寺市と立川市との市

次ページに続く▶